モデル計画Ｂ：育児をしている社員が多いが、長時間労働になりがちな会社

＿＿＿＿＿＿＿＿行動計画

社員がその能力を発揮し、仕事と生活の調和を図り働きやすい雇用環境整備を行うため、次のように行動計画を策定する。

１．計画期間　　年　　月　　日～　　年　　月　　日までの　　年間

２．内容

目標１：計画期間における男性の育児休業取得率を 30%以上とする

＜対策＞

- ●　　年　　月～　各職場における休業者の業務カバー体制の検討（代替要員の確保、業務体制の見直し、複数担当者制、多能工化など）・実施
- ●　　年　　月～　育児休業取得開始日から７日間を有給とする制度を導入する

目標２：全社員の時間外・休日労働時間の計画期間内の平均を各月 30 時間未満とする。

＜対策＞

- ●　　年　　月～　管理職を対象とした意識改革のための研修を〇〇回実施
- ●　　年　　月～　業務量の見直し、ＤＸ化による事務の効率化などの取組実施
- ●　　年　　月～　各部署における問題点の検討及び研修の実施

目標３：社員のワーク・ライフ・バランスを確保するため、勤務間インターバル制度を導入する。

＜対策＞

- ●　　年　　月～　社員へのアンケート調査、検討開始
- ●　　年　　月～　制度の導入、管理職研修及び社内報などによる社員への周知

※参考…勤務間インターバル制度について（働き方・休み方改善ポータルサイト）
https://work-holiday.mhlw.go.jp/interval/

目標４：　　年　　月までに、時間外労働を削減するため、ノー残業デーを設定、実施する。

＜対策＞

- ●　　年　　月～　社員へのアンケート調査
- ●　　年　　月～　各部署毎に問題点の検討
- ●　　年　　月～　ノー残業デーの実施
  管理職への研修（年〇回）及び社内報などによる社員への周知（毎月）